学校番号	１００１

令和５年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	世界史Ｂ （世界史Ｂ－２）	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	高校世界史 改訂版（山川出版）						
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・現代社会の事象と歴史的事象との連続性・共通する普遍性を理解しようとする姿勢が必要。
・歴史的事象をそれ単体で理解するのではなく、時間的・空間的視野も含めて理解・考察できるようにする。
・歴史的事象の背景について考えることができるようにする。
・教科書・副教材を中心に、図像や表・グラフ・映像からの情報抽出、それを用いた考察・グループワークなどを通じて歴史的事象を適切に他者に説明できるようにする。

２　学習の到達目標

・各資料を通じて歴史的思考力を養い、歴史的観点から考察、適切に他者に説明できる。
・世界史と日本史及び地理的条件のつながりを理解する。
・文化の多様性・複合性と現代世界の特質を広い視野から考察する。
・１４世紀から１８世紀のヨーロッパの世界進出に関する知識・理解を深める。
・国際社会に主体的に生きる人物としての自覚と資質を養う。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c: 資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	世界の歴史の大きな枠組みと展開に対する関心と課題意識を高め、歴史的事象に対して自ら調査することで、積極的に対象に取り組んでいく。	諸資料に基づいて、歴史における文化の多様性・複合性と現代世界の特質を多様な視野から考察し、歴史的思考力を養うと同時に、その過程及び結果を適切に表現している。	課題に対して適切に諸資料を収集し、抽出した有用な情報を、図・表・グラフ・地図・文章など適当な形式で表現している。	世界の歴史の大きな枠組みと展開を諸資料に基づき地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。
評価方法	ワークシート レポート グループワーク 自己評価 観察	ワークシート レポート グループワーク 観察	ワークシート レポート グループワーク 確認テスト 定期考査	グループワーク 確認テスト 定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

月	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
4	アジア諸地域の繁栄と日本	・東アジア世界の動向 ・清代の中国と隣接諸地域 ・トルコ・イラン世界の展開 ・インド・東南アジア世界の展開	○ ○ ○ ○	 ○ 	 ○ 	○ ○ ○ ○	a：１４～１８世紀のアジア諸地域の発展と特質、日本の位置づけについて関心を高め、積極的に対象に取り組んでいく。 b：清代の中国が隣接諸地域に与えた影響について、多様な視点から考察し、その過程及び結果を適切に表現している。 c：清代の中国が隣接諸地域に与えた影響について、適切に諸資料を収集し、抽出した有用な情報を、図・表・グラフ・地図・文章など適当な形式で表現している。 d：１４～１８世紀のアジア諸地域の発展と特質、日本の位置づけについて理解し、その知識を身に付けている。	ワークシート レポート グループワーク 自己評価 観察 確認テスト

5	ヨーロッパの拡大と大西洋世界	・ヨーロッパ世界の拡大 ・ルネサンス ・宗教改革 ・ヨーロッパ主権国家体制の形成 ・重商主義と啓蒙専制主義 ・ヨーロッパ諸国の海外進出 ・17～18世紀ヨーロッパの文化と社会	○ 	 ○ ○ 	○ ○ ○ ○ 	○ ○ ○	a: １６世紀から１８世紀までのアジア諸地域の特質とアメリカ・アフリカとの関係について関心を高め、積極的に対象に取り組んでいく。 b:ヨーロッパの海外進出の背景及び影響について、多様な視点から考察し、その過程及び結果を適切に表現している。 c: ヨーロッパ世界が拡大する背景に関する主題に沿って、適切に諸資料を収集し、抽出した有用な情報を、図・表・グラフ・地図・文章など適当な形式で表現している。 d:１６世紀から１８世紀までのアジア諸地域の特質とアメリカ・アフリカとの関係について理解し、その知識を身に付けている。	ワークシート レポート グループワーク 自己評価 観察 確認テスト 定期考査
6	産業社会と国民国家の形成	・産業革命 ・アメリカ独立革命 ・フランス革命とナポレオン ・ウィーン体制の成立 ・ヨーロッパの再編 ・南北アメリカの発展 ・19世紀欧米の文化	○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○ 	 ○ ○ ○ ○ ○ 	○ ○ ○ ○ ○	a:産業社会と国民国家の形成について関心を高め、積極的に対象に取り組んでいく。 b: 市民革命の背景とその影響について、多様な視点から考察し、その過程及び結果を適切に表現している。 c: 市民革命の背景とその影響について、適切に諸資料を収集し、抽出した有用な情報を、図・表・グラフ・地図・文章など適当な形式で表現している。 d:産業社会と国民国家の形成について理解し、その知識を身に付けている。	ワークシート レポート グループワーク 自己評価 観察 確認テスト

7 ・ 8	世界市場の形成と日本	・西アジアの変容 ・南アジア・東南アジアの植民地化 ・東アジアの激動	 ○	○ ○ ○	○ ○ ○	 ○	a:アジア諸地域の動揺について関心を高め、積極的に対象に取り組んでいく。 b:アジア諸地域がヨーロッパ諸国から受けた影響・背景及びその結果について、多様な視点から考察し、その過程及び結果を適切に表現している。 c: 設定された主題について、適切に諸資料を収集し、抽出した有用な情報を、図・表・グラフ・地図・文章など適当な形式で表現している。 d:１９世紀のアジアの特質とその中での日本の位置づけについて理解し、その知識を身に付けている。	ワークシート レポート グループワーク 自己評価 観察 定期考査
9 ・ 10	資料から読みとく歴史の世界	・資料から読みとく歴史の世界	○	○	○	○	a:資料を多面的・多角的に考察し、よみとくことについて関心を高め、積極的に対象に取り組んでいく。 b: ナポレオンのスペイン支配について、多様な視点から考察し、その過程及び結果を適切に表現している。 c: ナポレオンのスペイン支配について、適切に諸資料を収集し、抽出した有用な情報を、図・表・グラフ・地図・文章など適当な形式で表現している。 d: 資料を多面的・多角的に考察し、よみとくことについて理解し、その知識を身に付けている。	ワークシート グループワーク 自己評価 観察

11	帝国主義とアジアの民族主義	・帝国主義と列強の展開 ・世界分割と列強対立 ・アジア諸国の改革と民族運動	○ ○	 ○	 ○ 	○ ○ 	a:帝国主義の展開とその影響について関心を高め、積極的に取り組んでいる。 b:帝国主義とアジア諸地域の運動の連関を考察できる。 c: 設定された主題について、適切に諸資料を収集し、抽出した有用な情報を、図・表・グラフ・地図・文章など適当な形式で表現している。 d:帝国主義の展開と世界分割について正しく理解できている。	
12・1	二つの世界大戦	・第一次世界大戦とロシア革命 ・ヴェルサイユ体制下の欧米諸国 ・アジア・アフリカ地域の民族運動 ・世界恐慌とファシズム諸国の侵略 ・第二次世界大戦	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○	○ ○ ○ ○	a:第一次世界大戦から第二次世界大戦までの一連の流れについて関心を高め、積極的に取り組んでいる。 b:第一次世界大戦、ヴェルサイユ体制、ファシズム、第二次世界大戦の連関を考察できる。 c: 両大戦の特徴と差異について、適切に諸資料を収集し、抽出した有用な情報を、図・表・グラフ・地図・文章など適当な形式で表現している。 d:両大戦つながりについて正確に理解できている。	
1・2	冷戦と第三世界の独立	・戦後世界秩序の形成とアジア諸地域の独立 ・冷戦の激化と西欧・日本の経済復興 ・第三世界の対等と米・ソの歩み寄り ・石油危機と世界経済の再編	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	 ○ ○	○ ○ ○ ○	a:冷戦の流れと影響について関心を高め、積極的に取り組んでいる。 b:米ソの関係の変遷とその背景について考察できる。 c: 経済復興とその後の変遷について、適切に諸資料を収集し、抽出した有用な情報を、図・表・グラフ・地図・文章など適当な形式で表現している。 d:冷戦について、終結に至るまで正確に理解できている。	

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。